

T-ACTの活動報告

筑波大学学生生活支援室
T-ACTコンサルタント
樫村 正美



【T-ACT運営委員会】

1

1. T-ACTの活動報告①

■ 活動拠点



スチューデントプラザ

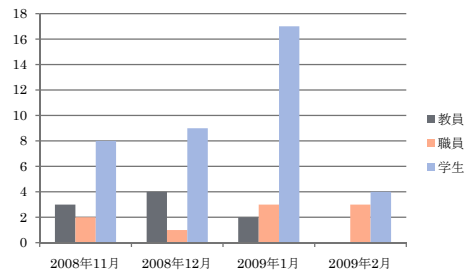


T-ACTフォーラム内観

2

2. T-ACTの活動報告②

- 来室者数 : 39名(08年11月～09年2月、延べ人数)
- 受付企画数 : 27件
- 承認済企画数: 10件
 - アクション: 4件
 - プラン : 6件

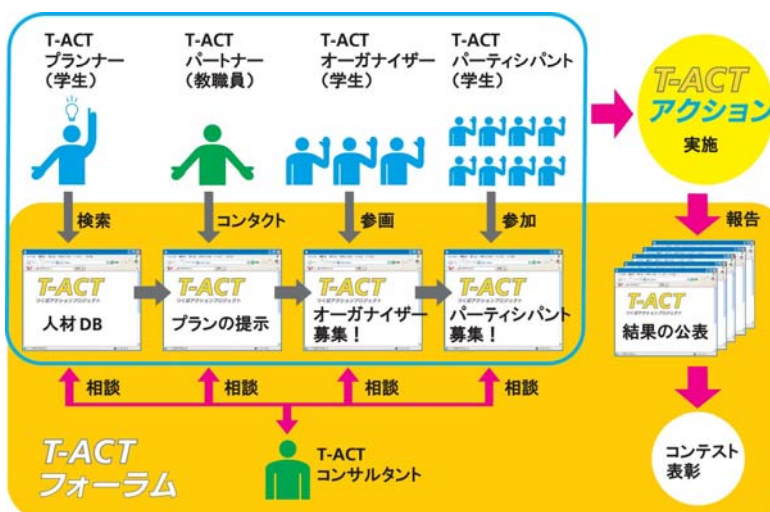


【学生・教職員別の来室者数】

- 「充実群」の学生の利用多数
- 男性の利用者がほとんど
- 教職員による紹介で来室、自発的来室も

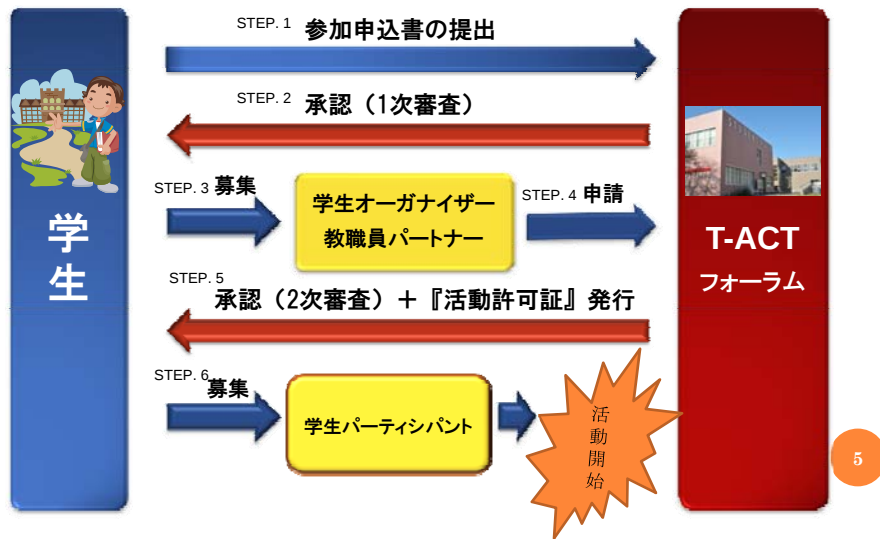
3

3. T-ACTの活動の流れ



4

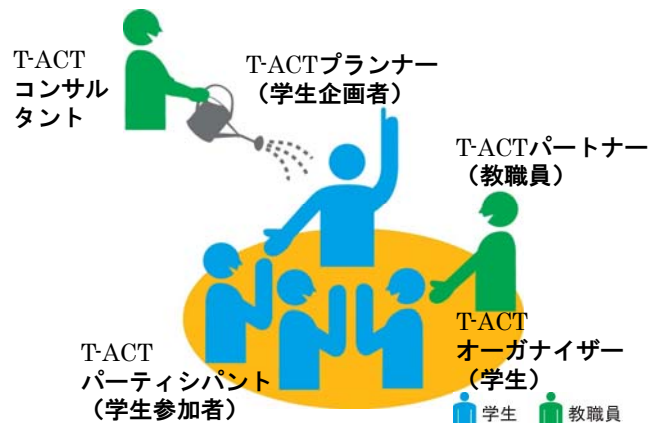
4. 登録システム稼働前の活動の流れ



5

4. 学生立案のT-ACTアクションの活動報告

T-ACTアクションの紹介



6

4-1. 学生立案のT-ACTアクションの活動報告①

既存の学生活動をT-ACTで展開したケース

■ 3R+1EcoCycle 08-09 (08002A)

- ・卒業予定者の不要な家電類を集め、新入生に無料配布
- ・職員1名がパートナーとして、活動を支援



■ 筑波学生文芸賞 (08009A)

- ・つくば市在住の学生から文学作品を集め、審査、冊子発行
- ・教員1名がパートナーとして、活動を支援

7

4-2. 学生立案のT-ACTアクションの活動報告②

学生が企画を新規立案したケース

■ 高校生対象の大学PR活動 (08007A)

- ・首都圏在住の高校生を対象に、筑波大学を学生だけでPR
- ・入試課、広報室の教職員がパートナーとして、活動を支援

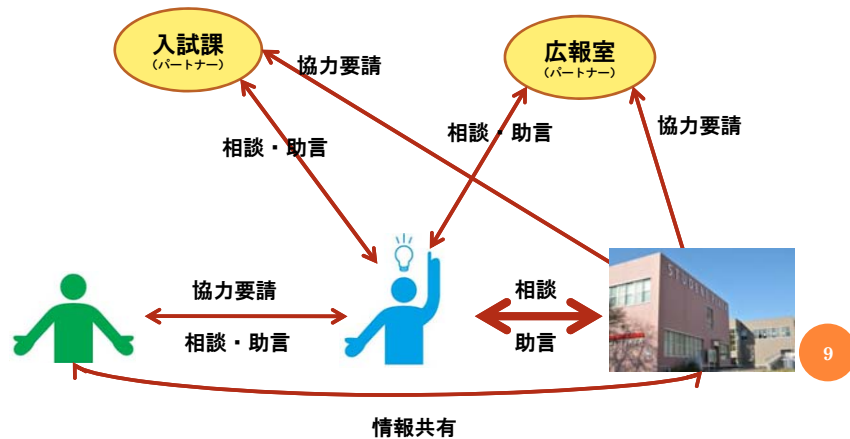
■ 子どもの疑似社会体験 (08010A)

- ・市主催のイベントで、学生が子ども向けの疑似社会を作る
- ・教職員数名がパートナーとして、活動を支援

8

4-3. T-ACTアクションの活動支援例①

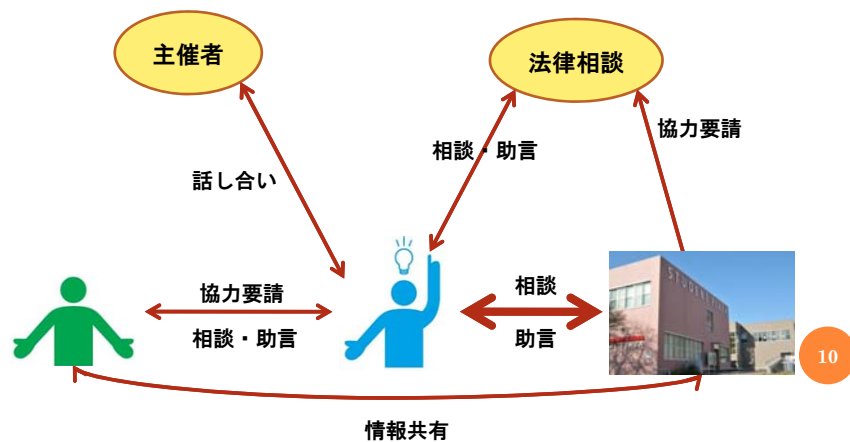
■ 高校生対象の大学PR活動(08007A)



9

4-4. T-ACTアクションの活動支援例②

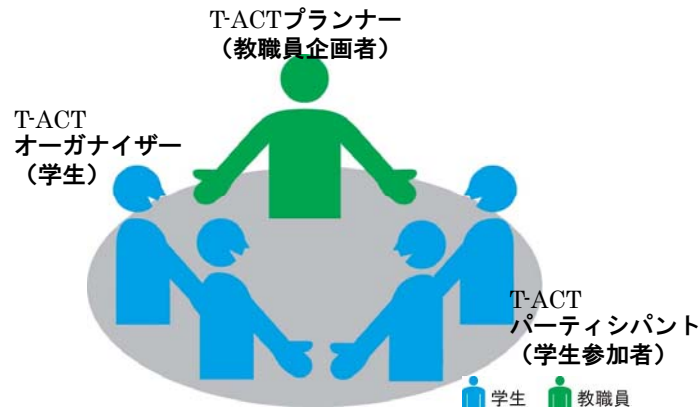
■ 子どもの疑似社会体験(08009A)



10

5. 教職員主体のT-ACTプランの活動報告

T-ACTプランの紹介



11

5-1. 教職員主体のT-ACTプランの活動報告①

実施済

■ 自転車の無灯火運転防止キャンペーン(08001P)

- ・既存の活動をT-ACTとして展開させたケース
- ・職員主導で、市の警察に協力を呼びかけ、学生参加を募集
- ・プランナーは職員1名、学生オーガナイザー2名で活動展開
- ・各日、約30名の学生パーティシパントが参加

12

5-2. 教職員主体のT-ACTプランの活動報告②

実施済

■ プロのオーケストラ・リハーサル見学会 (08003P)

- ・教員が企画立案したケース
- ・NHK主催の公開リハーサル見学会
- ・教員2名が学生を引率
- ・約20名の学生が参加
 - 刺激を受けた学生多数
 - 数名から、新たな企画のアイデア

13

5-3. 教職員主体のT-ACTプラン例①

現在進行中

■ 交通安全呼びかけキャンペーン (08004P)

- ・08001Pから連動し、別活動としてT-ACTで展開したケース
- ・職員主導で、学生参加を募集、学生の意見を積極的に取り入れた活動
- ・プランナーは職員1名、活動を支援(本日開催予定)

■ 留学経験者と希望者の意見交換会 (08005P)

- ・学生の留学経験を促進させるため、意見交換会を設ける
- ・教員プランナー、教員(長)1名がパートナー

14

5-4. 教職員主体のT-ACTプラン例②

現在進行中

■ ノーベル賞を理解しよう(08006P)

- ・この度の日本人受賞を機に、学生に理解してもらう機会を提供
- ・教員1名がプレゼンテーション、ワークショップ形式

■ 女子のための護身術(08008P)

- ・大学周辺の治安情勢を受け、女性に自己防衛手段を
- ・職員1名がプランナー、教員1名がパートナー、護身に関する学生団体に協力要請

15

その他…

T-ACTのアイデア一覧

【受付段階の企画案】

- | | |
|------------------|----------------|
| ・ 虹の広場再生プロジェクト | ・ ○○○の収穫体験 |
| ・ ハリーポッターを楽しもう | ・ 筑波大学川柳 |
| ・ アサヒビール工場の見学ツアー | ・ サイエンスカフェ |
| ・ キャンパス案内(新入生支援) | ・ サッカーを通じた地域交流 |

【説明会で学生から出された企画案】

- | | |
|---------------|----------------------|
| ・ オヤジギャグ選手権 | ・ 近隣の保育・老人施設へのボランティア |
| ・ 被災地へのボランティア | ・ 地域のお祭りの再興計画 |
- ...etc

6. 学生の反応

- 再来室者の増加
- 企画立案への意欲、積極性
- 話し合いによる新アイデア
- 励ましによる動機づけの向上
- 企画相談をこえた、個人的な相談など

17

意欲・動機づけの向上、加えて居場所的な機能も

7. 教職員の反応

- 意欲的な学生を迎え入れる
→積極的なパートナーに
- 学生にT-ACTを紹介
- プランナーとして企画提出
- T-ACTの理解度の高さ

18

教職員が一体となって、学生と共創的コミュニティを

8. 総合科目

みんなで創ろう「つくばアクションプロジェクト」

- 平成21年度開講(毎学期)
- 1・2年生を対象(学期完結のため再履修不可)
- T-ACTについて学び、立案から実施までの演習
- 企画案のコンテストを開催、優秀賞を決める

T-ACTの導入教育、学生の自発的活動を促進

19

9. 現在の進捗状況

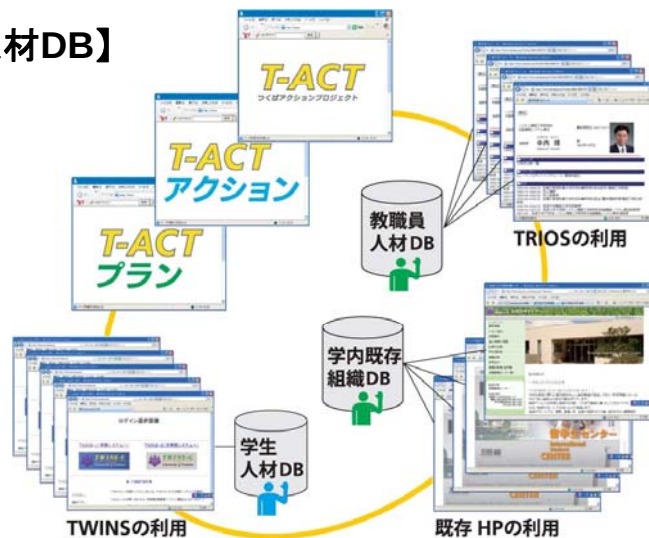


20

10. システム関係の進捗状況①



【人材DB】



21

11. システム関係の進捗状況②

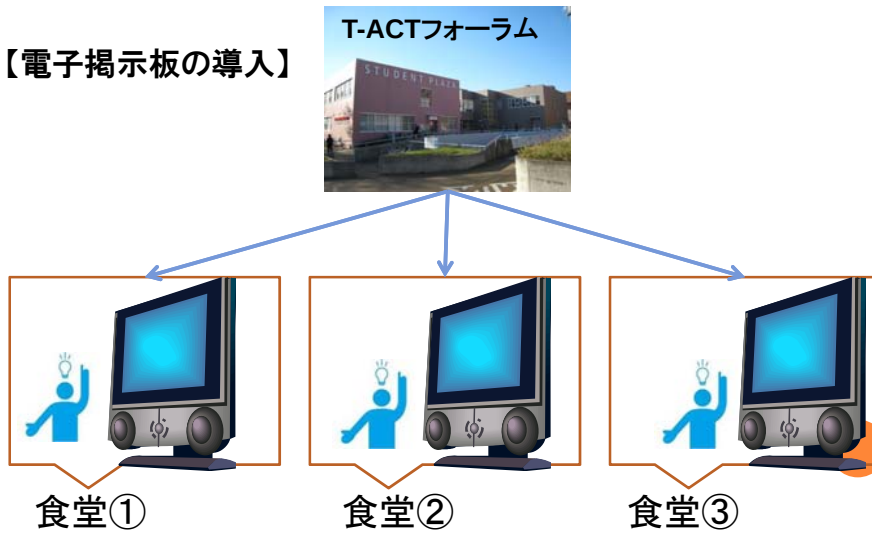


【T-ACT WEBサイト】

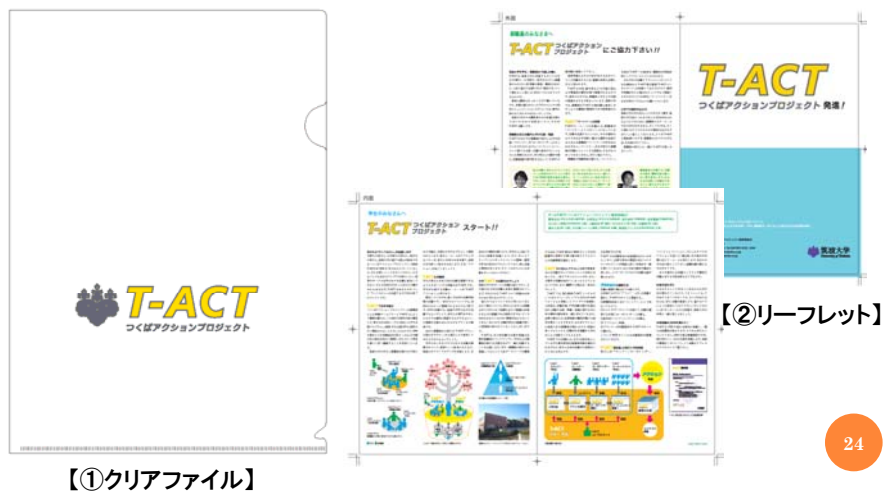
22

12. システム関係の進捗状況②

【電子掲示板の導入】



13. 広報活動の一例

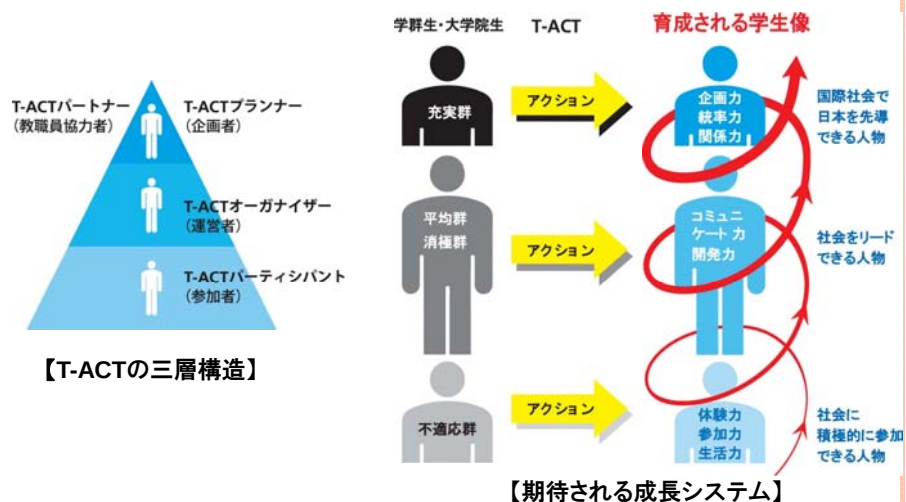


14. 今後の課題

- 活動の自由度の高さ、それに伴う現実との折り合い
- 活動にあたっての資金捻出への対応
- 全学教職員の周知度、連携体制(真の共創へ)
- 主観的評価の危険性、客観的評価の重要性
- 学生への呼びかけ(利用者の拡大)

25

15. T-ACTで期待される学生の成長



16. 最後に

- 学生の自発性、自信の向上をもたらしつつある
- 本格稼働前の学生の反応(学生の潜在的ニーズの発掘)
- 成功の背景には、大学のバックアップ体制の良さ
- 学生支援にかかわる教職員の数の多さ
- 学生と距離の近い教職員がプロジェクトを遂行するメンバー
- プロジェクトにおける常駐スタッフの存在の重要性